

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

CL：西 中塚

2. 山行スタイル

雪山

3. 目的

雪の北八ヶ岳を楽しむ

4. 山域／ルート

① 2月22日 渋御殿湯-高見石-ニュー-中山峠-東天狗-天狗岳-唐沢鉱泉-渋御殿湯

② 2月23日 女ノ神茶屋・蓼科登山口ー標高2110m標識ー蓼科山-蓼科山登山口

5. 自家用車

6. 行動記録

① 6：50 渋御殿湯-8：50 黒百合ヒュッテ-11：10 東天狗-12：20 中山峠
-12：30 黒百合ヒュッテ-13：50 渋御殿湯

② 7：50 駐車地ー8：20 女ノ神茶屋・蓼科登山口ー9：40 標高2110m標識
ー11：35 蓼科山-13：20 蓼科山登山口ー13：50 駐車地

7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

ほぼ予定通り

1日目は悪天候のため、黒百合ヒュッテから東天狗、中山峠を下ったが中山峠で12：20だったため、高見石を回り渋御殿湯に戻るのを止めた、そのまま渋御殿湯に下山した。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

なし

c) パーティーで、山行中の事故につながる要因につき、山行ご検討したか？

なし

7. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

① 渋御殿湯の駐車場は6時30分に受付。トイレがあり、トイレトーパーがあり、便座も暖かった。滑りやすいので注意。

② 東天狗への登りは中山峠を経由せず、黒百合ヒュッテから登ったが、トレースが消えており、ホワイトアウト状態だったのでコンパスと岩のペイントを頼りに前進。
当日は誰もこのルートをとっていなかった。コンパスと地図に助けられた。冬山はやっぱりコンパスが有効だと強く感じた。

③ 今回は2日間とも気温が非常に低かった。手袋を外したら凍ってしまいそうな冷たさだ。気温が低い冬山は手袋を脱いではいけない。写真などの操作が難しかった。

④ 蓼科山の駐車場へは7時30分頃到着したが満杯で駐車場難民となってしまった。

何とか30分ほど歩けば登山口にたどり着ける場所に駐車出来たが、お天気も良かったため

大勢の登山者が登っていた。6時30分頃に駐車場にたかなければいけなかった。

- ⑤ 帰りは米沢温泉 塩壺の湯（600円・ドライヤー100円）に入り帰神。いい湯だった。
- ⑥ 乗鞍岳からの転戦だったので、宿泊施設を確保するのが大変だった。山小屋、周辺のペンションなどは2食付きで1万4千円以上の宿しか空いてなかった。中塚さんが前に宿泊したところのある美濃戸ロッジ（2食付き9千円）に予約がとれた。建物は古かったが食事は品数も多くとてもおいしかった。

【感想】

（中塚）

出発当日のお昼まで山行ルートが確定せず、仕事をしながら西さんとやり取りをしてやっと行程が決定。19時前、無事出発できました。

中央道辰野PAで車中泊。完全に体を伸ばして羽毛シュラフで寝たはずが、寒さで目が覚めてもう眠れない。寝る前は-7度だったのでさらに下がっていただろう。

そんなこんなで、やや寝不足の体で渋の湯をスタート。黒百合小屋までは快調でしたが、東天狗直下で縦走路に合流するルートに入ってからなかなか大変でした。ノントレースで小雪交じりの真っ白なガスの中わかりにくい地形で、西さんのコンパスによるルーファイに導かれましたが、低い樹木を覆う雪の上なので踏み抜き多数。西さんのあとを歩いても僕だけが股まで落ちる。冷たい風の中、このルートはなかなか辛かったです。でも厳しく、ほぼ人のいないこのアルパインな雰囲気はとても満足感のあるものでした。

その夜は快適なロッジでおいしいご飯を頂いて、ぐっすり眠って元気を回復。二日目は快晴の中、蓼科山に向かいました。ところがゆっくりとおいしい朝ご飯をいただいて出かけたせいか、案の定駐車場は圧倒的に満車。戻りながら順繰りに駐車場所を見ていきましたが、結局2km以上離れた場所に何とか確保。登山口までも登りのロードになりました。

快晴のせいか、昨日とは打って変わってすごい登山者の数。当然高速道のような登山道になっていましたが、とにかく傾斜が急。最後の山頂直下はひたすらまっすぐな急登。二日目は楽な方の山だと思っておりましたが、これは大きな思い違いでした。でも天気は昨日と違って最高。頂上からは360度の展望が得られ、南ハケ岳がとてもかっこよかったし、南アルプス、中央アルプス、浅間山なども見ることができました。でも北アルプスはガスがかかっていたし、富士山も見つけられなかったのは少し残念でした。

山の天気予報によれば、両日とも山の気温は-15度前後だったようです。三重の手袋を外すと一瞬で指が痛くなるので、スマホで写真はほぼ取れませんでした。だから西さんにはたくさん写真を撮ってもらいました。この二日間はお天気や登山者の数など、ずいぶん雰囲気が違いましたが、それぞれに面白さやまた一つ経験になったなと感じることがありました。この山行を計画して、一緒に行動してくれた西さんに感謝します。



【天狗岳下り】



【蓼科山登りの途中】



【天狗岳下山の森】

(西)

乗鞍岳の予定だったがお天気が悪かったので、天狗岳と蓼科山に行くことにした。

1 日目の天狗岳は、厳しかった。黒百合ヒュッテから中山峠周りじゃないルートを選択したが、トレースはなくホワイトアウト。地図にコンパスを合わせルートを確定させていった。方向感覚がなくなり、コンパスが頼りの前進。時々確認できる岩のマーキングと中塚さんの GPS 確認で進んだ。踏み抜きも結構あり、ホワイトアウトなのでどこまで進んでいるのか不安になる。そして動作のどれもがストレスで「冬山にきてるんだ」と、その厳しさを再認識する。今回は、手袋は絶対外してはいけなかった。神戸労山に入って、冬山に行きはじめてたころ、手袋を外して作業をしようとしたら、「なにやってるんや!!」と怒鳴られたことを思い出した。最近暖冬で、指先がじんじん痛くなったりすることもなかったので甘く見ていたことを大いに反省させられた。2 人で力を合わせ、なんとか東天狗頂上に登れたことは自信になった。下山は中山峠周りだったので楽勝だった。渋の湯までの北八つの森を楽しみながら下山。ただ、登ってくる人の多さには驚いた。天狗に登る前は黒百合ヒュッテ辺りは閑散としていたのに、下山途中、30 人以上の人とすれ違った。

夜は、中塚さんのおかげで確保できた美濃戸ロッジでおいしい食事と暖かい布団でゆっくり休んだ。

2 日目、蓼科山。まさかの駐車場難民問題をなんとかクリアし、雲がかかる前に頂上に登れた。1 月に行った南八ヶ岳がきれいに見えた。南アルプス、中央アルプス、浅間山も眺められ、2 人で「ヤッホー」コールをした。蓼科山の頂上はだっ広く、岩が転がっている感じで特徴的だ。北アルプスや富士山が見えなかったのは残念だったけれど、北八つブルーは満喫できた。北八つは本当にきれいな森で、もっと静かなルートを見つけ歩きたいと思った。

1 日目は厳しく、2 日目は楽しく充実した北八ヶ岳でした。中塚さん、ありがとうございます。



報告者氏名 西 2025年2月28日